

関係者からのヒアリングのポイントについて（案）

1. 府民団体

- ① 震災前後で省エネに対する考え方にどのような変化があったか。
- ② 省エネ・省CO₂を進める中で課題と考えていることは何か。
- ③ 消費者に価格が少し高くても省エネ機器を選択してもらおうとする場合に重要となる要素は何か。また、その動機付けの方法について、どのように考えるか。
- ④ 家庭で取り組みにくい省エネ・省CO₂行動はあるか。また、省エネ行動に移すために、今後できそうな対策は何か。
- ⑤ 行政から府民に省エネ・省CO₂の情報を提供するには、どのような手法が効果的と考えるか。
- ⑥ 電力ピークを平準化するために、時間帯により料金を変える（ピーク時間帯ほど高くするなど）制度の導入について、どのように考えるか。
- ⑦ 省エネ・省CO₂機器の導入を促進する施策としては、東京都の白熱灯一掃作戦などのキャンペーン、一定規模以上の者への新增築時の導入義務化など、様々な強度のものがあるが、どのように考えるか。
- ⑧ 省エネ・省CO₂を推進していく上で、行政の役割として期待することは何か。

2. 省エネ関係事業者

- ① 震災前後で家庭や事業者の省エネに対する考え方にどのような変化が生じたと考えているか。
- ② 事業者において、省エネ・省CO₂を進めるために重要となる要素は何か。
- ③ 家庭、オフィスビル等において、短期的、中長期的にどのような設備（空調、照明等）にどのような対策を導入するのが効果的か。
- ④ 費用対効果の観点からも、省エネ・省CO₂の観点からも、導入を推進すべき対策、機器は何か。
- ⑤ 比較的簡単に取り組めるが、取組が不十分な省エネ対策はあるか。その取組が進まない理由は何か。
- ⑥ 既存建築物の省エネ・省CO₂を進めるためには、どのような対策があるか。
- ⑦ 見える化の取組により、どの程度の省エネ・省CO₂効果が期待できるか。
- ⑧ 電力ピークを平準化するために、時間帯により料金を変える制度の導入について、どのように考えるか。
- ⑨ 省エネ・省CO₂機器の導入を促進する施策としては、東京都の白熱灯一掃作戦などのキャンペーン、一定規模以上の者への新增築時の導入義務化など、様々な強度のものがあるが、どのように考えるか。
- ⑩ 省エネ・省CO₂を推進していく上で、行政の役割として期待することは何か。